

みどりの風

令和元年 10月18日発行
鹿沼市立みどりが丘小学校
TEL 0289-65-4844



目指す児童像 **かしこい子 やさしい子 たくましい子**
目指す学校像 **みんなで どんなときも りかいしあえる学校**



いよいよ秋も深まり夜寒を覚えるこの頃です。大型台風の爪痕は大きく、市内各地で大きな被害を受けた様子を目の当たりにして、自然の脅威を感じた時でありました。

学校では、みどりフェスタに向けて、各学年・学級で準備や練習に励んでいます。生活科や総合的な学習の時間に学んできたことを、大勢の方々の前で立派に発表しようとする意気込みが伝わってきます。子供たちの学習の成果を御覧いただき、これまでの努力と堂々と発表する姿を称えて、温かな拍手をいただければ幸いです。

各学年の主な発表内容紹介～みどりフェスタ～



【1年生 生活科の発表】

オープニングではクラス全員で音読をします。その後、各グループに分かれて、学校探検をしたことや朝顔の観察、動物園に行ったことなどを、絵や写真を見せながら発表します。最後にクラス全員で元気に合唱します。



【2年生 生活科の発表】

初めに全員で「お手紙」の音読をします。その後、「町は たらばこ」「生き物 大好き」「めざせ野菜名人」のテーマに分かれ、さらにいくつかのタイトルで発表します。最後にみんなで「365日の紙飛行機」を合唱します。



【3年生 鹿沼のじまん】

初めに全員でリコーダーの演奏をします。その後、各グループに分かれて「鹿沼土」「いちご」「さつき」「秋祭り」「屋台」など、校外学習で調べてきたことを発表します。興味深く聞いてもらえるように発表も工夫しています。



【4年生 福祉はじめの一歩】

総合の時間に体験を通して学んだことを生かし、各グループで、手話、点字、盲導犬、聴導犬、ユニバーサルデザイン、パラリンピックなど、探究してきたことを発表します。最後に「パブリカ」を、手話をつかって合唱します。



【5年生 米作り】

田植えから稲刈りまで、体験を通して学んできたことを踏まえ、各グループでタイトルを決めて探究しました。「米作りの機械のうら側」「お米のものしり大変化」「輝け お米の未来!!」など、タイトルを見ただけで興味津々！



【6年生 わたしたちの未来】

卒業を半年後に迎える6年生は、自分たちの将来について一人一人が真剣に考えました。プログラマー、宮大工、介護福祉士、イラストレーター、トリマー、義肢装具士など、様々な職業について調べ、プレゼンで発表します。

《学力・学習状況調査から》

今年4月、6年生は、全国一斉の「全国学力・学習状況調査」を国語と算数の2教科で、4・5年生は、全県一斉の「とちぎっ子学習状況調査」を国語と算数、理科の3教科で実施しました。調査で測定できたのは学力の特定の一部ですが、本校の傾向としては、以下のような結果でした。その結果を全職員で分析し具体策を検討して、現在、力を入れて取り組んでいるところです。

【各学力調査の結果から】

- 6年生は、国語は優れている、算数はやや優れているで、正答率はどちらの教科とも全国を上回った。
- 5年生の正答率は、3教科ともほぼ県平均と同程度であった。4年生の正答率は、県平均と比べて、算数は同程度であったが、国語と理科においてはやや劣っていた。
- ★全体の結果として、無回答率に差が出た。6年生は、記述式の問題もよく解き無回答率がとても少なかったのに対し、4・5年生は、**記述式の問題の正答率が低く、無回答率が高い**傾向にあった。そこで、「**自分の考えを形成する力**」の育成を掲げ、その課題と具体策を3点あげて、現在、すべての学年で意図的に取り組んでいる。

課題	具体策
<ul style="list-style-type: none"> ・問題が長文で、問題の意味を読みきれていない。 ・たくさんの情報の中から、必要な事柄を見つけ出せない。 ・必要な条件を満たした文章が書き出せない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大切なところに線を引いて、ポイントを押さえた読み方について各教科で統一して指導する。 ・国語はもちろんのこと、社会や理科などの教科においても、多くの情報の中から必要な事柄を取り出し、複数の情報を関連づけて考える学習の場を設ける。 ・国語の「書く」「聞く・話す」の単元では、条件を付けて文を書いたり考えをまとめたりする活動を取り入れる。 ・各教科のまとめで、「字数を30字以内にまとめて書く」などを提示した学習を行う。

【質問紙調査から】

○とちぎっ子の質問紙調査では、「毎日の生活が充実している」「自分にはよいところがあると思う」「誰に対しても思いやりの心をもっていると思う」「自分のよさを人のために生かしたいと思う」が、県平均に比べ「いいえ」（どちらかと言えば）と答える児童が少ない。ピア・サポート活動の効果が表れていると考える。

○「平日、ゲームやインターネットをする時間が3時間以上」の割合が、県平均よりも高い。



利用時間の見直しについて、学校(学級活動等)で考える時間を設けると同時に、家庭での声掛けをお願いします。

ゲームやインターネットの利用時間を各家庭で話し合い、時間を決めて使うようにしましょう。



今年度、国語科の学力向上事業モデル校(鹿沼市)として、授業力向上を目指して全職員で研修に励んでいます。10/2(水)に、今年度2回目の研究授業、授業研究会を実施しました。今回は、3年2組と6年1組が授業を行いました。「へんしんブックを作ってみどり小の児童や先生に見てもらいたい!」「よりよい鹿沼市にするために、意見文を書いて鹿沼市長さんに伝えたい!」という目的意識、相手意識をもって授業を行うことが、児童の主体的な学びにつながっていることを確認することができました。

次回は、11/22(金)に公開研究発表会を行います。1年2組と4年1組が、鹿沼市内の先生方に授業を公開し、授業研究会を行います。

子供たちの日々の活躍の姿やPTA活動、また、毎月の行事予定などをホームページに掲載しています。どうぞ、そちらもご覧ください。 <http://kanuma-school.ed.jp/e-midori>